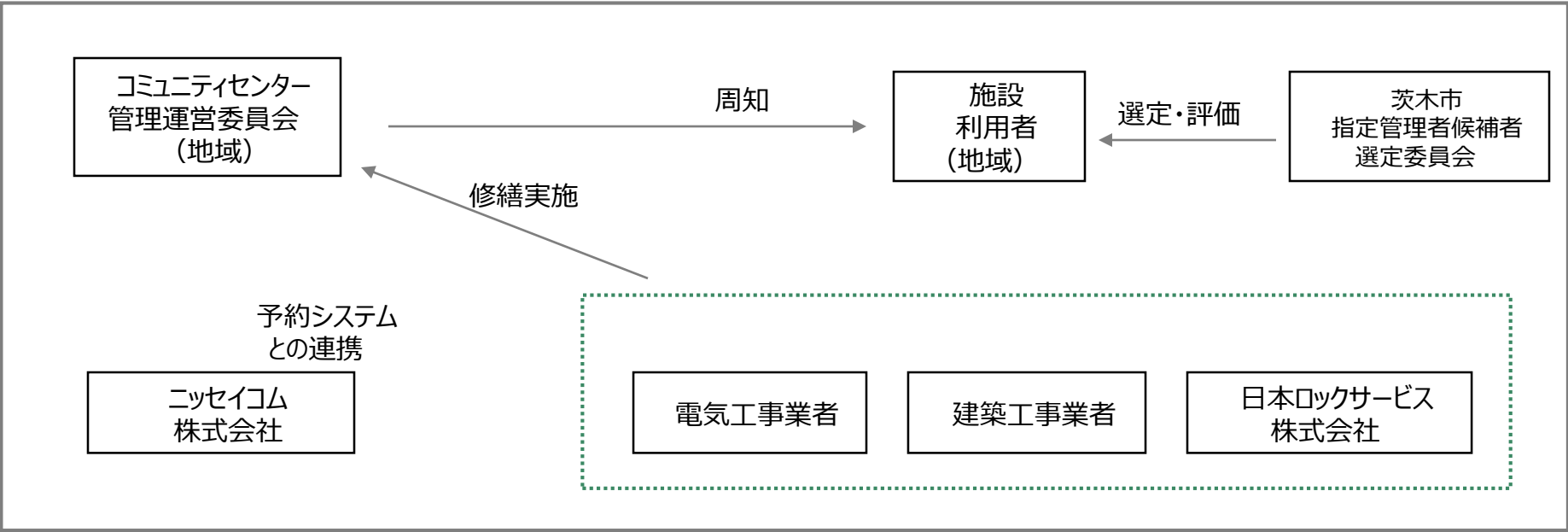


事業概要【コミュニティセンタースマートロック整備事業】

自治体名	大阪府茨木市	人口	286,029人	事業費	12,364千円
事業概要	本市の5コミュニティセンターで整備済みのスマートロックシステムを2センターに追加で整備するもの。 現状、午後・夜間の時間帯の利用者も利用当日午前中に鍵の受け取りが必須となっているが、 スマートロックを設置することで事前の来館を不要にし、利用者の利便性を向上させる。				
具体サービス	【本事業における拡充内容（追加施設）】 ・中津コミュニティセンター ・東奈良コミュニティセンター 【サービスの概要】 コミュニティセンターの各貸室にwi-fi型スマートロックシステムを整備し、利用者はメール等で利用時間のみ使用できるパスコードの発行を受け、利用当日に部屋の入口に設置された機器にパスコードを入力することで解錠できるようにする。 【住民への裨益効果】 スマートロックの導入により、当日午前中に鍵を受け取りに行かなくても施設を利用できるようになる。				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①令和7年度に導入した2施設の午後、夜間枠利用件数		【アウトカム指標（成果指標）】 ①令和7年度に導入した2施設の手続所要時間の短縮 ②令和7年度に導入した2施設の利用満足度		

実施体制



名称	役割
茨木市	- 事業計画の立案 - 各業者への修繕等依頼 - 指定管理者との連携
指定管理者	- 利用者への周知 - 各業者との工事日程調整
電気工事業者	スマートロック用Wi-FiのAP設置修繕
建築工事業者	対応建具へ入替え修繕

名称	役割
日本ロックサービス 株式会社	スマートロック機器の設置修繕
ニッセイコム 株式会社	予約システムとスマートロックの連携
コミュニティセンター 管理運営委員会	施設利用者への貸室業務対応
茨木市指定管理者候補者選定委員会	- 公の施設の指定管理者候補者の選定 - 業務の実施状況等に関する評価 - 構成 外部委員 5 人（大学副学長 1、教授 4）

交付金の具体的使途

経費項目	金額（単位：千円）
スマートロック機器設置修繕（中津コミセン）	2,803
スマートロック用扉改修（中津コミセン）	1,854
スマートロック用Wi-Fi整備修繕（中津コミセン）	1,093
スマートロック用自動ドア装置更新（中津コミセン）	135
スマートロック用ドアタイマー設置（中津コミセン）	62
スマートロックシステム使用料（中津コミセン）	139
スマートロック機器設置修繕（東奈良コミセン）	2,587
スマートロック用扉改修（東奈良コミセン）	2,436
スマートロック用Wi-Fi整備修繕（東奈良コミセン）	931
スマートロック用自動ドア装置更新（東奈良コミセン）	136
スマートロック用ドアタイマー設置（東奈良コミセン）	62
スマートロックシステム使用料（東奈良コミセン）	126
経費合計	12,364

効果検証：アウトプット指標（活動指標）

KPI①	令和7年度に導入した2施設の午後、夜間枠利用件数	種別	アウトプット	単位	件／日
KPIの概要、測定方法	貸室の午後、夜間の利用件数				
事業成果等の計測に適する理由	スマートロックサービス導入により鍵の受け取りに午前中に来館する必要がなくなった件数				
2025年度末		2026年度末		2027年度末	
5		5.5		6	
2025年度末		2026年度末		2027年度末	
5.58（達成）					
KPIの状況	地域情報誌や市のホームページ、市広報、SNSなどを活用してスマートロック導入についてを広く周知し、これまで眠っていたニーズを掘り起こすことを意識した。またスマートロックに対するハードルを下げるため、各貸室に利用方法を細かに示し、利用者が利便性を感じられるよう努めた。				
今後に向けた取組	2026年度も引き続きスマートロックの導入を積極的に周知し、コミュニティセンターの新規利用者獲得、利用促進に努める。また、スマートロックの利便性についてアンケートをとり、利便性が向上している材料として活用していく。				

効果検証：アウトカム指標（成果指標）

KPI①	令和 7 年度に導入した 2 施設の手続所要時間の短縮		種別	アウトカム	単位	分／日・センター
KPIの概要、測定方法		鍵の貸し出しにかかる時間。 ①当日の予約確認、②鍵の準備、③貸出、④鍵の取扱（返却方法等）の説明、⑤返却鍵の確認にかかる時間。 10分/件 施設管理者にアンケートを実施する。				
事業成果等の計測に適する理由		施設窓口の負担軽減具合を計測できる。 上記③④は施設利用者にも効果があり、利用者にとっては施設までのアクセスにかかった時間も削減になる。				
2025年度末		2026年度末			2027年度末	
55		60			65	
2025年度末		2026年度末			2027年度末	
55（達成）						
KPIの状況		本来であれば、利用者の増加により窓口業務の負担が増えるが、スマートロックの導入により、必要な手続きが減るため、特別な省力化の工夫を行わずして、利用件数の増加に伴い自動的に業務効率が上がる流れが構築できている。				
今後に向けた取組		スマートロックの導入により、削減できた時間を有効活用し、利用者サービスの向上に向けた取り組みや利用者が安全安心に利用できる環境整備等に注力し、より利用者満足度が高い施設管理運営ができるよう取り組んでいく。				

KPI②	令和 7 年度に導入した 2 施設の利用満足度		種別	アウトカム	単位	点
KPIの概要、測定方法		毎年度実施している施設・設備への満足度のアンケートにより満足度の確認。 満足（4点） やや満足（3点） やや不満（2点） 不満（1点） の4点満点とし、全利用者分平均値を計測。				
事業成果等の計測に適する理由		利用者の意見を直接聞くことができ、利用者からのフィードバックを踏まえて更なるサービス改善を図ることができるため				
2025年度末		2026年度末			2027年度末	
3		3.2			3.5	
2025年度末		2026年度末			2027年度末	
3.54（達成）						
KPIの状況		従来通りの物理鍵の運用に慣れている利用者やデジタル化に苦手意識がある利用者に対して、スマートロックに対するハードルを下げるべく、事前に使用方法などを細かく説明するなど、利便性を感じていただけるよう工夫した。				
今後に向けた取組		令和 7 年度に実施したアンケートを継続し、利用者の声を定期的に聞き取る機会を設ける。アンケートにおいて、スマートロックに対する苦手意識やマイナスの意見があれば、その都度丁寧に対応することで利便性向上に努める。				